

奈良時代に綴られた茨城県ガイドブック・常陸国風土記

常陸国風土記ニュース

Vol.2

常陸国
風土記
1300年記念

古代茨城の世界へタイムスリップ！ 「常陸国風土記1300年記念事業」の ホームページが完成しました！

<http://www.hitachifudoki1300.jp>



2013年は、奈良時代(713年)に風土記編さんの詔(みことり)が出されてから1300年の節目の年にあたります。茨城県では今、全県をあげて「常陸国風土記1300年記念事業」を展開中。このたびイベント情報をはじめ事業の内容や常陸国風土記の話題などをわかりやすく紹介するホームページが完成いたしました。

風土記は永い年月の間にその多くは失われ、現存しているのは5つ(常陸国、播磨国、出雲国、豊後国、肥前国)だけです。その中で常陸国風土記は、東日本で唯一残る貴重な文化遺産として知られています。是非、ホームページをご覧いただいて、古代より豊かであった茨城の世界に触れてみてください。

常陸国風土記1300年記念 ホームページのメニュー紹介

常陸国風土記を「学ぶ」「訪ねる」「食べる」「見る」「関連イベント」の5つのカテゴリーで紹介しています。

- 「学ぶ」
常陸国風土記に関する講座や講演会についての情報を紹介。
- 「訪ねる」
常陸国風土記に記されているゆかりの場所について、その記載内容と現在の様子とをあわせて紹介。
- 「食べる」
常陸国は「常世の国」(理想郷)と呼ばれるほど、豊かで海山の幸に恵まれたと記されています。そうした茨城の多彩な旬の食材を使った茨城県のアンテナショップ「茨城マルシェ」のコースメニューを紹介。
- 「見る」
茨城県立歴史館のギャラリー展で展示される常陸国風土記の版本、版木、写本など貴重な資料を紹介。
- 「関連イベント」
県内各地で実施される関連イベントのスケジュールや問い合わせ先などの情報を紹介。



常陸国風土記 情報掲示板①

常陸国風土記特別展 「多珂の郡・久慈の郡」

場所:高萩市歴史民俗資料館
日時:6/29(土)～7/15(月・祝)
9:30～17:50(土日祝日は17:00まで)
※月曜休館(祝日の場合はその翌日)

常陸国風土記の版本(茨城県立歴史館所蔵)と多珂の郡・久慈の郡に関するパネルを展示します。東日本で唯一現存する常陸国風土記を実際に見ることができます。また、7月14日(日)には、常陸国風土記に関するミニ講演会(10:00～、13:30～)を開催。定員30名、事前の申し込みは不要です。

問い合わせ先
高萩市教育委員会生涯学習課 TEL:0293-23-1132
高萩市歴史民俗資料館 TEL:0293-23-7229

鹿嶋市どきどきセンター夏休み企画展 「第13回企画展 鹿島神郡」

場所:鹿嶋市どきどきセンター 特別展示室
期間:7/1(月)～8/30(金)
開館時間:9:00～16:30
休館日:土曜、日曜、祝日

場所:鹿嶋勤労文化会館 フロントギャラリーパネル展
期間:7/25(木)～8/4(日)
開館時間:9:00～21:00
休館日:月曜

鹿島は今から1360年くらい前に「神郡(かみのこほり)」と呼ばれていました。「神郡」とは大化改新の後に置かれた特別な郡で全国に7ヶ国8郡しかありません。今回の展示では、鹿島神郡について発掘調査の成果を交えて紹介します。

問い合わせ先
鹿嶋市どきどきセンター TEL:0299-84-0778

いばらき風土記新聞等コンクール 作品募集中！ 身近な地域を調べた現代の風土記をつくろう

茨城県では、風土記編さんの詔が出されてから1300年にあたることを記念して、子どもたちが地域の歴史に関心を持ち、郷土への親しみや愛着をより深めてもらうことを目的とした「いばらき風土記新聞等コンクール」を実施し、その作品を募集しています。

主催:茨城県・茨城県教育委員会

応募対象者:茨城県内の小学3年生から小学6年生までの個人又はグループ(クラス単位でもよい)

応募作品:

《内容》

- 実際に現地を訪ねたり、関係者から話を聞いたりして、分かったことや感じたこと等を新聞形式等でまとめ、現代の「いばらき風土記」を制作。(常陸国風土記ゆかりの地等を調べてまとめることも可)
- 社会科の授業等で作成した学習新聞等

～いばらき風土記の例～

- ・地域の有名な食べ物や産業、地域に伝わる言い伝え、地域に残る古いもの(史跡や神社等)について、調べたことをまとめる等

応募先・提出期限:各学校において応募作品をとりまとめ、公立学校については9月18日(水)までに市町村教育委員会あてに提出。また、国立・私立学校については、10月1日(火)までに茨城県生活文化課あてに提出。

賞:優秀作品には、賞状ならびに賞品を贈呈。入賞者には、11月4日(月・祝)に開催される「常陸国風土記1300年記念フォーラム&フェスタ」(於:茨城県立県民文化センター)において、賞状を授与。

問い合わせ先
茨城県生活環境部生活文化課 文化振興担当 TEL:029-301-2824

常陸国風土記 情報掲示板②

風土記とは？

◆風土記は、諸国の文化、伝承、地理などを記した地方誌のこと。713年(奈良時代)、朝廷からの命により諸国に編さんの詔が出され作成されました。現存しているものは全国で5つ(常陸国:茨城県、播磨国:兵庫県、出雲国:島根県、豊後国:大分県、肥前国:長崎県、佐賀県)だけで、「常陸国風土記」は東日本で唯一残る貴重な文化遺産といわれています。その内容は、常陸の名の由来をはじめ、筑波山や鹿島神宮など、各地の由来や伝説などについて記されておられ、1300年の時を超えた歴史ロマンを感じさせてくれます。



常陸国風土記(版本)。大きさは縦26cm、横36cm(見開き)。頁数は76ページに及びます。(茨城県立歴史館蔵)

どうして常陸国風土記は今に残されたのか？

黄門さま(徳川光圀)のおかげです。

◆720年前後に完成したであろう「常陸国風土記」は、正本が奈良の朝廷に提出され、副本が国衙(こくが:国司が政務を執った役所)に保管されたと考えられます。提出された正本が失われたらしく、約200年後の925年に太政官符(だじょうかんぷ:諸国衙へ発令した正式な公文書)によって、再提出が命ぜられています。その後、平安時代から鎌倉時代には、「常陸国風土記」からの引用文が掲載された書物が多数あることから、少なくとも鎌倉時代末頃まで広まっていたと考えられています。

しかし、室町から戦国時代の動乱の中で伝存が途絶えてしまい、再び「常陸国風土記」が世に出るのは、江戸時代の延宝5年(1677年)のこと。水戸家第二代藩主の徳川光圀による「大日本史」編さん事業に関連して、加賀前田家が所蔵していたものを彰考館(大日本史を編さんする部署)が借用し写筆したことによります。その後、加賀藩、彰考館の本も焼失してしまいましたが、水戸藩の学者たちによる写本が作成されたことで今に伝わっています。

「茨城マルシェ」で常陸国風土記編さん1300年を記念したコース料理が評判です！



常陸国風土記コース

常陸国は、常陸国風土記に、土地が広く豊かで、海山の幸に恵まれ、「常世の国」と呼ばれるほどであったと記されています。そうした茨城の多彩な旬の食材を使った味を、風土記編さんの詔から1300年を記念したコース料理としてお楽しみいただけます。是非お試しください。
5,000円(飲み放題付)



茨城マルシェ(レストラン&バー)

〒104-0061 東京都中央区銀座1-2-1 紺屋ビル1F

TEL: 03-5524-0827

【JR】山手線「有楽町駅」から徒歩約3分

【東京メトロ】有楽町線「銀座一丁目駅」から徒歩約1分

丸ノ内線・日比谷線・銀座線「銀座駅」から

徒歩約4分

<http://www.ibarakimarche.com>

■本資料に関するお問い合わせ、ご取材をご希望の際は下記までご相談ください。

生活環境部生活文化課 担当: 森、町田、比企

TEL 029-301-2824 FAX 029-301-2848

E-mail: seibun2@pref.ibaraki.lg.jp